

社会福祉法人
悠生会通信



H I R O K A

新年
謹賀

2026

vol.26

新年号

本年もよろしくお願ひいたします



特別養護老人ホーム悠生園 園長室



特別養護老人ホーム悠生園 地域連携部:法人部



特別養護老人ホーム悠生園 2階



特別養護老人ホーム悠生園 3階



特別養護老人ホーム悠生園 4階



特別養護老人ホーム悠生園 コミット



特別養護老人ホーム悠生園 看護部



特別養護老人ホーム悠生園 機能支援部



悠生園デイサービスセンター



悠生園デイサービスセンター サタライトだんらん



中央デイサービスセンター



悠生園ケアプラザセンター



大野城市東地区地域包括支援センター



大野城市中央地区地域包括支援センター



悠生会配食サービス



みかさの森保育園

【広報誌のご感想をお聞かせください】



悠生会通信「悠」 /
みかさの森通信について
オンラインアンケート

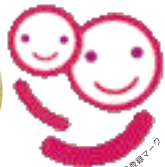
地域密着型トータルケアサービス



社会福祉法人

悠生会

〒816-0906 福岡県大野城市中2丁目5番5号
TEL.092-504-1000 FAX.092-504-2192



詳しくは、弊社ホームページ
<http://www.yuseikai.jp/>
を御覧ください。





理事長
篠原 和孝

年頭にあたって

令和8年1月1日

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆さまにおかれましては、健やかに輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中に、ご利用者やご家族、園児ならびに保護者の皆さま、さらには地域や関係機関の方々から寄せられました多大なるご支援に対し、厚く御礼申し上げます。皆さまの温かいお力添えがあってこそ、当会は地域に根差した歩みを続けることができております。

< 社会福祉法人の使命 >

私たちを取り巻く環境はこの数年で更に厳しさを増しております。経済情勢の不安定さに加え、以前から進行していた少子高齢化・家族形態の変化が、一段と人との繋がりを希薄なものにし、「誰にも気づかれない孤独」が深刻な社会問題に押し上げました。かつて地域や家族が担っていた見守り機能が弱まり、高齢者の独居世帯や、子育てに悩む保護者が孤立を深めてしまうケースも少なくありません。こうした公的な制度だけでは救いきれない「声なき声」にいかに寄り添い、安心を届けていくか。今、社会福祉法人の真価が問われています。私たちは単なる福祉サービスの提供者に留まらず、地域社会に「安心」を届ける責務を、改めて身の引き締まる思いで受け止めております。

< 干支 >

古来より馬は、人々の暮らしに寄り添い、共に困難を乗り越えてきた「献身と信頼」の象徴です。その歩みは常に人と共にあり、私たちはそこに深い絆の原点を見出すことができます。

私たちが推進する「幼老共生」や「地域共生社会」の実現も、まさにこの「手を取り合い、共に歩む」という尊い精神に基づいています。活力に満ちた「丙午（ひのえうま）」の年、当会は多様化する地域ニーズへより確実に応え続けるため、経営基本方針である「5つの力」—すなわち「人の力」「商品の力」「組織の力」「財務の力」「よき法人市民の力」を軸に、さらなる組織基盤の強化を推し進める重要な転換点にしていまいります。

< 本年の抱負 >

本年、私たちが目指す姿は「自律した組織」への進化です。職員一人ひとりが専門職としての責任と誇りを持ち、慣習に捉われず「何のために行うのか」「本当にこれが最善か」、「他に方法はないのか」などと問い直し、より良い支援に向けて一歩前へ踏み出す姿勢を育んでまいります。

その具体的な一歩として、「生成AI」というデジタル技術を職員が正しく学び、活用する取り組みを進めております。従来の諸記録や情報整理などの時間を効率化することで、ご利用者や園児の一人おひとりに丁寧に向き合う時間を創出し、多様な視点やアイデアを支援の質向上へと繋げていくことが目的です。

技術は進歩しても、介護や保育の本質は「心を通わせる温かな関わり」であることに変わりはありません。伝統的な価値観と新しい技術を融合させ、皆さまにさらなる安心と笑顔をお届けできるよう努めてまいります。

< 結びに >

昨秋、恒例の「悠生会秋祭り」には900名を超える方々にご来場を賜り、皆さまのご支援の大きさを改めて実感いたしました。皆さまのご理解とご協力こそが、私たちの地域福祉を支える礎です。誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現に向けて、職員一同、誠心誠意取り組んでまいります。

今年一年が、皆さまにとって健康で実り多き年となりますよう心より祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

8月

ふくおか都市圏 Kids ジョブ
チャレンジ 2025 in 筑紫
に参加しました！

2025年8月23日(土)・24日(日)の2日間、特別養護老人ホーム悠生園 多聞ホールにて、「ふくおか都市圏 Kids ジョブチャレンジ 2025 in 筑紫」に参加しました。介護の仕事体験を通して、子どもたちに「人を支える仕事」の大切さをお伝えしました。



↑①介護の仕事内容について説明を受ける様子



↑②車いすに乗る・押す・操作する体験



↑⑤高齢者疑似体験で、心身の変化や介助の重要性を体感



↑⑥手洗いチェックで、正しい手洗いを実践



↑③介護食や食事介助を体験



↑④眠りスキャン付き電動ベッドの操作や、睡眠・離起床状況を確認



↑⑦体験終了後、お給料と賞状を授与

9月

9月より、AI研修・始動。～業務効率化の先にある
「ご利用者様と向き合う時間」を増やすために～

現在悠生会では、外部講師を招いたAI研修を実施しています。各事業所の職員で構成された「生成AI委員会」を中心に、ChatGPTやGeminiをはじめ、議事録・文字起こし・要約・スライド・画像・音楽生成など、業務に活用できるAIを幅広く学んでいます。

本研修は、AIに任せられる業務を置き替えて職員の負担を軽減し、生まれた時間を「ご利用者様と向き合う時間」に還元することを目的としています。業務手順書やカスタムチャット(指示文)を作成し、発表・共有を行う実践的な研修です。



10月

令和7年度悠生会秋祭りへのご協力、ありがとうございました！



令和7年(2025)年10月26日(日)10:00～16:00、特別養護老人ホーム悠生園にて開催した、毎年恒例の秋祭りでは、900名を超えるご来場者で会場は埋め尽くされました。秋祭りにへご参加・ご協力いただきました全ての方に感謝申し上げます。



10月

お客様満足度調査へのご協力
ありがとうございました。

2025年10月より悠生会(東・中央包括、保育園、配食サービスは除く)のご利用者様・ご家族様を対象にアンケートを実施しました。結果および改善内容は家族会・ホームページ・書面等で公表いたします。

12月

出張！カフェフェリーチェを開催しました！

2025年12月2日14:00～、大野城市北コミュニティセンターにて「出張！カフェフェリーチェ」を開催しました。ハーモニカ奏者などによる演奏が行われ、参加者の皆さまは、心地よい音色を楽しまれました。



お手軽レシピの紹介

～体を温め、胃腸にやさしい具たくさんみそ汁～

土鍋風たらのみそ汁



≡ IT'S COOKING TIME! ≡



材料(2人分) 1～2人用の土鍋を使用

たら…2切 (200g)	しめじ…1/2パック
えび…4～6個	エリンギ…1本
白菜…1/4切	長いも…120g
さつま芋…50g	生姜…お好み量
人参…40g	みそ…適量
青ねぎ(長ねぎ)…1本	水…2カップ
	(具材から水分が出るため調整)
	昆布(だし用)…適量

作り方

1. たらは骨を取り、食べやすい大きさに切る。
2. 白菜、青ねぎ、さつま芋、人参、しめじ、エリンギは食べやすく切り、生姜は皮をむいてすりおろす。
3. 土鍋に水と昆布を入れて火にかけ、温まったらすりおろした生姜を加える。
4. たらと野菜を入れて煮込み、加熱中に長いもをすりおろす。
5. 仕上げ直前にみそを溶き入れ、すりおろした長いもを加えて、軽く再加熱し、完成。

くまのこ



特別養護老人ホーム悠生園 管理栄養士
西岡さんより ☆栄養メモ・ポイント☆



- ・長いもは消化を助け、胃腸への負担を軽減します。
とろろの粘りで鍋の温度が下がりにくく、味もまろやかになります。
- ・みそは、通常のみそ汁よりやや濃いめがおすすめ。野菜から出る水分を見ながら調整してください。
- ・みそ味なので具材のアレンジも自在。たらを肉に替えたり、トマトやキムチを加えたり、メに卵雑炊や麺類を入れるのもおすすめです。
- ・調味料はみそのみで、手軽に作れる一品です。 ※薬味に七味唐辛子や柚子胡椒もよく合います。



編集部が行く

今回はデイサービスセンターの
職員さんをご紹介!

スタッフゆるゆるリレー



悠生園デイサービスセンター

林 美奈子 さん

(はやし みなこ)

好きな食べ物

マック、牛肉、ステーキ、じゃがいも

この仕事に就いた理由

高齢者支援のボランティアにやりがいを感じ、介護職に興味を持った事がきっかけ

趣味

愛犬とキャンプやお出掛けをすること。動物園や水族館巡り。

好きな言葉

「やらないで後悔するより、やって後悔の方が良い」



↑「愛犬の"コロ丸"(チワワ・♂・3才)が、犬の幼稚園でお友達とさんぼしている写真です。週2で海や山に連れて行ってもらっています。」

笑っている表情から、日々を楽しんでいる様子が伝わってきますね!



↑↑「ソロキャンプにハマって7年目になります。たのしい!!」
立派なテントから、「本格派」であることがうかがえます。

←「みー助(うさぎ・♂・8歳)」と、「コロ丸」。
喧嘩ばかりしています。」と、この写真に一言。
真剣なまなざしで「みー助」を睨む「コロ丸」。
一方の「みー助」はまったく気にせず、のほほん。
温度差が絶妙なツーショットです。



悠生園デイサービスセンター サテライトだんらん

中ノ神 範子 さん

(なかのかみ のりこ)

好きな食べ物

あんきも

理想の上司

馬場大地次長(だんらん責任者)です。
包容力と指導力があり、頼れる上司です。

この仕事に就いた理由

笑顔で過ごしていただけるお手伝いができる
と思い、介護の道に進みました。
何気ない会話や、季節の行事を通して、
安心できる居場所を作ることが私の目標です。

趣味

愛犬のトリミング、休日の外食

好きな言葉

「和を以て貴しと為す」
→人と人との調和を大切にすることが尊い
という意味

こちらは、中ノ神さんをAIに読み込ませて作成したイメージ画像です。
まさにご本人の印象そのままの、明るく・優しさにあふれた雰囲気が表現されています。↓



「趣味のトリミングの写真です。愛犬「ココちゃん」→(トイプードル・♀・13才)のシャンプーとカットを、月1回のペースでやっています。」と、0才から13年間欠かさずカットをし続けた、まさにプロ顔負けの腕前で、将来は自宅サロンを開くのが夢だそうです!

【悠生園】 防犯対策イベントのお知らせ

春日警察署の方をお招きし、職員と一緒に、毎年防犯対策イベントを実施しています。地域の皆さまにもご見学いただける内容です。

🌸と き 2026年2月頃(予定)
🌸ところ 特別養護老人ホーム悠生園



【悠生園デイ】 こんな行事をしています

1月には初詣に行き、新年の始まりをご利用者様と一緒に祝いします。また、毎月1回、季節や内容に応じた行事を開催しています。

〈初詣〉
🌸と き 1月
🌸ところ 宇美八幡宮

〈月例行事〉
🌸と き 毎月
🌸ところ 悠生園デイサービスセンターサテライトだんらん



【だんらん】 “だんらんクッキング” ってなに？

毎月だんらんクッキングを行っています。ご利用者様は、調理や会話を通して、楽しい時間を過ごしていただいています。

〈月例行事〉
🌸と き 毎月1回
🌸ところ 悠生園デイサービスセンターサテライトだんらん



【中央デイ】 こんな行事をしています

1月は、中央デイのご利用者様全員で春日神社へ初詣に出かけます。

🌸と き 毎年1月 🌸ところ 春日神社



【保育園】 卒園式のお知らせ

みかさの森保育園での思い出を胸に、りんご組の子どもたちが巣立ちの時を迎えます。保護者の皆さまとともに、これまでの成長をあたたく見送ります。

🌸と き 3月頃
🌸ところ みかさの森保育園



【保育園】 園見学・園庭開放を行なっています

園見学や園庭開放は、随時受け付けています。ご希望の方は、事前にご連絡ください。

🌸と き 随時(要事前連絡)
🌸ところ みかさの森保育園



【悠生園】 家族会のお知らせ

特別養護老人ホーム悠生園およびユニットをご利用のご家族様を対象に、家族会を開催しています。日頃の取り組みをお伝えし、交流を深める場としています。日時が決まり次第、改めてご案内いたします。

🌸と き 2026年2月28日(土)
🌸ところ 特別養護老人ホーム悠生園



【だんらん】 “だんらんカフェ” のご紹介

地域の方やご利用者様が集い、交流を楽しむ「だんらんカフェ」を定期開催しています。参加を希望される方は、092-504-7060 へお問い合わせください。

🌸と き 2026年2月12日(木)
🌸ところ 特別養護老人ホーム悠生園



【だんらん】 こんな行事をしています

初詣や節分など、季節に合わせた行事を多数開催しています。

〈初詣〉
🌸と き 1月
🌸ところ 太宰府天満宮 宇美八幡宮他

〈月例行事〉
🌸と き 毎月1回
🌸ところ 悠生園デイサービスセンターサテライトだんらん



【中央デイ】 輪和笑(わわわ)カフェ開催

毎月2回、地域の方やボランティアの皆さまと交流する地域カフェを開催しています。地域の皆さまもご参加できます。

🌸と き 毎月2回
🌸ところ 中央デイサービスセンター



【保育園】 子育て相談ができます

毎月1回、保育ソーシャルワーカー様が来園し、子育てに関する相談を受け付けています。相談を希望される方は、担任の先生までお声かけください。

🌸と き 毎月1回
🌸ところ みかさの森保育園



2026年のイベントや行事予告となっております
今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます!!



MIKASA no MORI Nursery School Communication.

みかさの森保育園通信

2026

vol.13

新年号



今回、表紙を飾ってくれたのは、りんご組のお友達。
元気いっぱい、毎日を全力で楽しむ姿に、たくさんの笑顔と成長がつまっています。
寒さの中でも変わらないあたたかな表情や、仲間と過ごすかけがえのない時間。
今この瞬間の輝きを、大切に切り取った一枚です！

フェイスブック

インスタグラム

FacebookとInstagramで

みかさの森保育園の最新情報

をお届け致します！



Facebook
はこちらから！



Instagram
はこちらから！



フォローお願いします！



MIKASA
no
MORI

みかさの森保育園

保育士さん募集中！

〒816-0906 福岡県大野城市2丁目5番地5号
TEL:092-504-1212 FAX:092-504-1133

ホームページアドレスはこちら

<https://mikasanomori.jp/>

●園児募集について ●こども達の日常
●園でのイベント情報 ●求人募集...etc



年齢を超えて育ち合う保育 ～ 同じ空間、同じ空気、同じ声の中で ～



【異年齢交流（0～5歳児） ～年齢の違いが、思いやりと主体性を育む～】

0～5歳児までの子どもたちが一緒に遊び、関わる時間を日常的に設けています。年上の子は年下の子を気遣い、年下の子は年上の姿を見て自然に学んでいます。このような異年齢交流により、①相手の立場を考える力 ②自分から手を差し伸べる気持ち ③教える・学ぶという双方向の関係性が、遊びの中で自然に育まれています。



←里山を上げる様子

5歳児の子は、1歳児の子と手をつなぎ、段差のある里山を歩幅に合わせて進みます。



↓ 頂上で感じる達成感

山の頂上で「やっほー！」とみんなで声を上げました。



→（小話）みのりのもり（里山）の今は…？

「みのりのもり」の名前のとおり、今年は初めてみかんが実りはじめました。少しずつ色づく実を見つめながら、自然の育ちを感じる時間となっています。



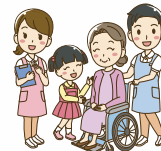
→園庭で一緒に遊ぶ様子

お写真はみんなで一緒に砂場で遊んでいる様子です。他にも、自転車のこぎ方を教え合ったり、ボール遊びを楽しんだりしながら、子ども同士が遊び方を自ら学び合っています。



【幼老共生（高齢者との交流）～世代を超えた関わりが、心の豊かさを育む～】

同じ敷地内にある、特別養護老人ホーム悠生園や、悠生園デイサービスセンター、サテライトだんらんとの交流を、日常的に行っています。子どもたちはご高齢者と交流する中で、①人を敬う気持ち ②優しく接する姿勢 ③相手の話に耳を傾ける態度を、自然に身につけていきます。



↑ イベントを通して 広がる多世代のつながり

特別養護老人ホーム悠生園・悠生園デイサービスセンター・サテライトだんらん主催のクリスマス会(12月開催)などの行事を通して、ご高齢者と交流しました。

【法人としての強み ～全年齢がつながる学びの場～】

みかさの森保育園では、0～5歳児の園児同士の交流に加え、併設する特別養護老人ホーム悠生園や悠生園デイサービスセンター・サテライトだんらんと多世代交流を大切に活動を行っています。年齢や立場の異なる人と関わる中で、思いやりや相手を尊重する気持ちが育まれ、心の成長につながる学びとなっています。異年齢交流と幼老共生を通して、「人と人との関わりの大切さや豊かさ」を学ぶ保育を、これからも大切にしていきます。



生活発表会を実施いたしました！



① りんご組 ダンス「show girl/ブルー・ロビンソン」

振り付けを楽しみながら覚え、練習を重ねる中で息の合った動きになってきました。秋祭りからさらに成長した、カッコいい姿を披露しました。

📷 写真：キレイのあるダンスシーン



⑤ もも組 劇あそび「こぶとりじいさん」

自分たちで内容を考えながら作り上げた、もも組オリジナルの劇あそびです。役になりきり、楽しそうに演じる姿が見られました。

📷 写真：もも組らしい温かい劇の場面



② もも組 合奏「よろこびのうた」

もも組になって初めて手にする楽器もありましたが、みんなで楽しく練習を重ね、力を合わせて元気いっぱい演奏をしました。

📷 写真：一生懸命演奏するもも組



⑥ のいちご組 竹太鼓～この地球の続きを～

2025年開催、大阪・関西万博のテーマソングに合わせ、力強い音と掛け声をそろえ、迫力ある竹太鼓を披露しました。真剣な表情からたくましさ一段と光りました。

📷 写真：竹太鼓をこれから打とうと真剣な表情



③ りんご組 合奏「ホール・ニュー・ワールド」

初めての楽器に戸惑いながらも、音を出す楽しさを感じて練習を重ねてきました。音をそろえる難しさ乗り越え、心をつにした演奏を披露しました。

📷 写真：真剣に演奏する台奏の様子



⑦ りんご組 劇「アラジン」

友だちと励まし合いながら練習を重ね、歌と踊りでアラジンの世界を生き生きと表現しました。本番では自信に満ちた表情で、元気いっぱいの演技を披露してくれました。

📷 写真：アラジンの世界観あふれる劇のフィナーレ



④ のいちご組 オペレッタ「ヤギとトロル」

物語の世界を楽しみながら、登場人物になりきって表現してきました。少し緊張しながらも、最後までやり遂げた姿に成長が感じられました。

📷 写真：物語のクライマックスシーン



⑧ のいちご・もも・りんご組 合唱「歌えバンバン」「明日は晴れる」

3クラスがそろい、元気な歌声を会場いっぱいに届けました。楽しそうに歌う姿がとても印象的な発表となりました。

📷 写真：みんなで歌う合同台唱

